

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)

【公表番号】特表 2008-538018 (P2008-538018A)
 【公表日】平成 20 年 10 月 2 日 (2008.10.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-039
 【出願番号】特願 2007-552304 (P2007-552304)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

H 0 4 L 9/32 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 4 0

H 0 4 L 9/00 6 7 5 A

H 0 4 L 9/00 6 7 5 D

【手続補正書】
 【提出日】平成 21 年 1 月 19 日 (2009.1.19)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

検証識別子に関連付けられた製品の真正性を検証する方法であって、

前記製品の前記真正性を検証する試みに関連して前記検証センタに情報を自動的に伝えること、

前記製品が本物か否かを示す前記検証センタからの応答を自動的に受信すること、
を備える、方法。

【請求項 2】

前記識別子が、電話、インターネット、コンピュータ、無線、セルラ電話、V O I P またはその組合せを介して前記検証センタに伝えられる、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記識別子が本物であり、且つ前記製品が本物かどうかを示す前記検証センタからの応答を以前に受信している場合は、前記製品が偽造である可能性があることを示す第 2 の応答を前記検証センタから受信することすることをさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記識別子を前記検証センタに伝えることを自動的に指示するステップを更に含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

コンピュータのメモリに識別子のデータベースを維持すること、

前記識別子が前記検証センタに伝えられたことに応答して、前記コンピュータメモリにアクセスして前記データベースを検証し、前記一意の識別子が本物か否か判断すること
をさらに含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記識別子が伝えられたことを示す記録を前記データベース内に記録することをさらに含む、請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

前記自動的に伝えられた情報は、A N I 情報を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記方法は、ユーザによる事前登録を必要としない、請求項 1 に記載の方法。